

10月の自由部門 作品

六
憂鬱の嵐から逃れて
タイで至福を味わおうとしたが
笑いと性欲だけの世界に直面し
悲しみに涙した私を
君は知ってくれているか？
(ヘン)

五
人は空しくなると
生きていた証は消去される
ただ生きている人の記憶に
ぼんやりと残る
それもいつか消えてゆく
(ヒーロー)

四
視線を感じたおとほけトッケー
擬枝でござると
危険をかわすが
丸見えのかくれんぼ、
君も地球に生まれて幸せか？
(三枝子)

三
出来事は
そのままにしておく
引出しに入れると
どこに入れたか
忘れてしまうから
(カズ)

二
金が金、金
欲、欲、欲
食物、食物、食物
家、家、家
金、金、金
(トレバー)

一
私が笛を吹くと
太陽が照り
猿は踊り始める
私が吹くのを止めると
人が泣き始める…何故？
(ピンボン)

作品ごとの評価と得点

No1. 1点 評1: 1点 (音楽は心に必要な食料です。トレバー) **作者コメント** <現代のような混沌とした時代には、心のセラピーのために、すてきな音楽が必要と思います>

No2. 1点 評1: 1点 (この作品は名詞だけを繰り返し羅列した、固執的な作風で面白く感じました。五行目が1行目に戻るので永遠にこの5行が続く「回転地獄のような五行歌」です。カズ)

作者コメント <金融機関の危機が起こっている今、銀行家の貪欲と地球上の食料も住む家もない多くの人々に対する哀れみを作品にしたものです>

No3. 5点 最高点 評1: 2点 (コメントなし。ヒーロー) 評2: 2点 (私自身の毎日の行動と同じで私の琴線に触れた作品です。トレバー) 評3: 1点 (私は、古い記憶は、新しい情報が入った時に混乱するので、時々消去するようにしています。ピンボン)

作者コメント <記憶するコツは、記憶の引出しに上手に整理して入れておき、いつでもすぐに取り出せるようにしておくことといわれていますが、それはインデックスがちゃんと覚えられる若い時のことで、66歳にもなると、下手に引き出しに入れるとどこに入れたのか忘れてしまうのです。カズ)

No4. 3点 評1: 1点: (最後の行が光っているように感じました。人間も「自分では気がつかないのに他人から見ると丸見え」ということがあるようで…。カズ) 評2: 2点 (ヤモリを素材にした五行歌で地球の全ての真実を語っている。これを読んで楽しく幸せな気分になった。ピンボン) **作者コメント** <気味の悪い姿で嫌われ者のトッケーも一生懸命生きてる姿をみると健気で可愛らしささえ感じる>

No5. 2点 評1: 2点 (この作品は私にとって大変興味深い。この五行歌の続きをハッピーエンドにする作品を自分が考えているところです。ピンボン) **作者コメント** <「空しさ」という課題を戴き、この世から去っていった人々を思い浮かべたら出来たものです>

No6. 5点 ★最高点 評1: 2点: (この詩形は、五行の全体が1つの疑問文の形になっていて珍しい。確かにタイ人は、禁欲とは縁がなく、何事も笑って済まし、分析も反省もしないところが目につくが、タイの全部が笑いと性欲だけの世界かどうか何か誇るべきものがないのだろうか。タイ人に是非反論してほしいところです。カズ) 評2: 1点 (コメントなし。ヒーロー) 評3: 2点: (やりきれない嫌な思い出は、時として我々皆に向けた「激しい怒り」となって現れるようです。トレバー) **作者コメント** <なし>

去る10月26日(日)、27(月)の二日間、東京グランドプリンスホテル赤坂で、五行歌世界大会in東京が開催されました。五行歌は、日本ではすっかり定着して、各地で盛んに歌会が行われていますが、世界進出となるとまだまだ手探りの状況でチェンマイ五行歌会も同様です。会員が増えることが何より力強いのですが、しばらく新しい会員の入会が止まっています。是非とも勧誘をして一人でも会員を増やすようご協力下さい。世界大会の報告は、12月の初めに同人誌「五行歌」に掲載されます。同人誌が届き次第ご紹介するつもりです。

10月の課題部門(詠題:空(くう))作品集

一
 こだわりをなくせば
 空に近づく
 近しと思いきや
 こだわりの
 バッグを買う。
 (三枝子)

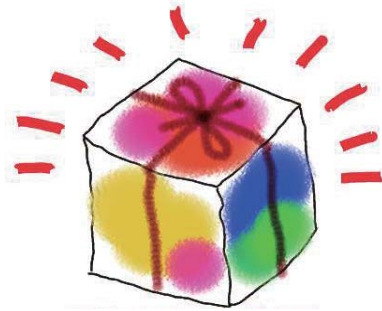
四
 秋が来た
 木々は実を付け
 人々は収穫をする
 トンボは水辺に子孫を残す
 無とは? 時を空費する私
 (カズ)

五
 空(くう)は、見えない
 人は、見えるものを信じ見えないものは信じない
 私の中からなのにも空はある
 空のないものはない
 空こそ真実を知る中心なのだ
 (マブチ)

二
 心を満たすため
 止めどなく求め続ける
 ひとたびポンプが止まると
 心は空になり
 孤独の悲しみに沈む
 (トレバー)

三
 おい! 旦那!
 どこから来なすった?
 「無の世界から」
 どこに行くんだい?
 「無の世界へ」
 (ピンポン)

六
 未来という魅力そんな時も
 過去という化け物に
 刻々と食われ
 空しくなる
 だから今に生きる
 (ヒーロー)



作品ごとの評価と得点

No1. 4点。 評1: 2点 (確かに物に執着しないことは、空(くう=「無」=悟りの境地)に近づく方法のように思われます。でもそれは実は大変に難しいです。また「悟りたい」というならばそれもまた知的または宗教的な欲望でもあります。欲がなくなったらおしまいなどとも言いますし…。カズ) 評2: 2点 (「空」は「時間」といつも同じ関係にあって、死んだ後も空も時間も続き「永遠に終わらないもの」であることを望んでいます。ピンポン) **作者コメント** <もう何も欲しくないと言っていたのに見れば欲しくなる嘘つきな自分がある>

No2. 2点。 評1: 1点 (欲求を求め続けてある時点で緊張が切れるのは「燃え尽き症候群」といわれています。カズ) 評2: 1点 (コメントなし。ヒーロー)

作者コメント: <チャンマイ五行歌会でいままでたくさんの作品が、愛情や花の美しさなどについてロマンチックな作品が創られてきましたが、私は今月の課題の「空」から「心の空虚」をテーマにしてみました>

No3. 2点。 評1: 1点 (タヒチに渡った画家ゴーギャンの「我々はどこから来たのか?そしてどこへ行くのか?」という疑問と同じですが、この作品では、「旦那」がきちっと答を出しているの、ゴーギャンより一歩前に進んでいます。それにしても多くのタイ人は、輪廻転生(魂の生まれ変わり=リンカーネーション: reincarnation)を信じているように見えます。カズ) 1点 (コメントなし。ヒーロー)

作者コメント: <光の速度は時間を空にしてしまう。 E=MC² の公式(アインシュタインの相対性理論中の光速・質量・エネルギーの関係式(…カズの注。カズは相対性理論を理解していないのでこれ以上の解説は無理))に従って、僕らは生まれ変わるかも知れません。ピンポン>

No4. 2点 評1: 2点 (自分もまた「空(くう)」について思いをめぐらした結果、時間を無駄にしました。トレバー) **作者コメント** <仏陀は考え抜いた末に、全てが空であると言った(色即是空)のですが、空についていくら考えても空があるだけ。極楽トンボさえ無意味に飛んでいるわけではないのでして、考えるよりも行っている方が生きている感覚があります。カズ>

No5. 5点。★最高点 評1: 2点 (コメントなし。ヒーロー) 評2: 1点 (この作品は、表現が複雑すぎるくらいがあるが、それでも1点献上したい。トレバー) 評3: 2点 (「空こそ真実を知る中心」に同感します。ピンポン)

No6. 3点。 評1: 2点 (自分もこの「今に生きる」と書けるようなすばらしい生き様ができたらいいなと思わされた。トレバー) 評2: 1点 (この作品には、「空」、「無」それから「悟り」という人生のテーマが述べられていて勉強になりました。ありがとう。ピンポン) **作者コメント** <過去と未来にいつも逃げている人間達。大切なのは今このときですとまた自ら言い聞かせています。>

●次回のチェンマイ五行歌会は11月27日(木)、午後1:30より、設立1周年記念歌会として看護師養成学校で行います。会員増強。1人でも2人でも、お知り合いの方をお誘い下さいますようよろしくお願い致します。お題はトレバーさんから戴きました「翼(つばさ)」です。飛行機の翼ではなく鳥の翼です。イメージを羽ばたかせて下さい。自由作品とともに11月15日までに北川さんの新しいメールアドレス宛てに送って下さい。